

震災時に避難所となる市施設の営繕及び使用について 議会質問をしました！

小学校の給排水管の応急復旧

震災時に避難所となる小中学校の給排水管が被害を受けた場合、給排水管の修繕を行い、一部のトイレが使えるようにすべきである。応急復旧についてどのような考えなのか質問をしました。

市からは「復旧にかかる時間を短縮するためには、あらかじめ団体に加盟する企業がどの学校に行くのかを決めておき、事前に給排水管の状況等を把握していただくことにより、被災時に迅速に対応することが必要であると考えており、今後、各団体に対して要望してまいります。」との答弁がありました。

小中学校のトイレの使用

小中学校のトイレの使用に関して、発災直後の早期使用が可能となるような対策や、女性や高齢者の方などの立場に立った使用の考え方について質問をしました。

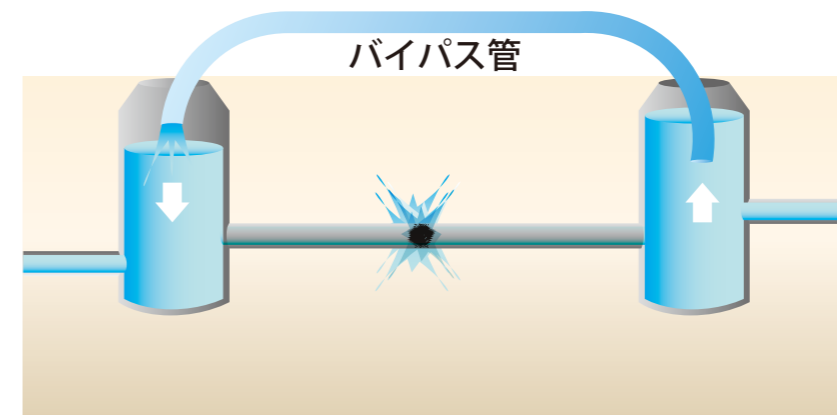
市からは「議員ご指摘のように、トイレパニックへの対策や、高齢者や女性、障害者の方への配慮も重要な視点と考えており、今後、簡易パック式トイレの配備の充実など、給排水が使用できない場合でも学校内のトイレが早急に使用できるような対策とともに、ご提案いただいた簡易洋式トイレの配備についても、課題を整理しながら検討していきたい」との答弁がありました。



震災時における下水道の緊急対応について議会質問をしました！

河川や一般道路に埋設されている下水道管が破損して直近のマンホールにて水を止めた場合、上流部から下水があふれることも想定されるため、対策が必要になると思いますが、具体的にはどのような対応を考えているのか質問をしました。

市からは「上流から流れてくる下水の量、下水を流すことが出来ない管の延長、周辺の下水管の状況などをふまえて、各々の場所における対処法を早急に策定し、迅速に対応することで、地震などの災害が発生した際にも、市民の方々に下水道を利用していただけられることを第一に考え、議員ご指摘の点を踏まえ、危機感を強く持ち事業を進めていきます。」との答弁がありました。



道路陥没事故を未然に防止するための取り組みについて 議会質問をしました！

陥没事故を未然に防ぐために、道路管理者として、今までどのような取り組みをしてきたか、また、今後どのように安心安全な道路を保つのか質問をしました。

市からは「今後は、幹線道路の調査を引き続き実施し、空洞の発見に努めて補修することで、事前に陥没を防ぐとともに、空洞調査の結果をもとに占有企業者等関係機関と陥没の発生を未然に防ぐ方策を検討していきます。」との答弁がありました。

